

## 整備場所及び建替整備手法について

## 1 整備場所

検討委員会では、「明石市内の医療資源の活用」や、「明石市内の医療機関との連携」など、現在地(明石市)での建替を想定した議論がなされてきた。

さらに、

- ① 豊富ながん治療実績を持つ病院が神戸・阪神地域と姫路市に集中しており、現在地はその中間にあたることから地域的なバランスも取れており、これらの病院との情報共有等を図りやすいこと
- ② がんセンターが、高度ながん治療を行う専門病院として、長らく明石市に所在していることが県民の意識に定着していること

などの点を踏まえると、整備場所は現在地が望ましいと考える。

## 2 建替整備手法の検討

現在地(明石市)での建替を前提に、①現地建替、②移転整備についての比較検討を行ったところ、現地建替が望ましいと考える。

	メリット	デメリット
現 地 建 替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積が広大で将来の機能拡充への対応も可能</li> <li>・土地調達コストが不要</li> <li>・近隣の医療機関等との連携関係をそのまま継続可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財本調査のコストが別途必要</li> </ul>
移 転 整 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療制限が不要 (ただし、今回のがんセンターは敷地が広大なため、現地建替でも診療制限不要の可能性あり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に適した県有地がない</li> <li>・県有地以外で整備する場合、新たに用地取得費が必要</li> </ul>